

H 2 A ロケット最終号機打上げ成功についての知事コメント

本日午前1時33分、鹿児島県の種子島宇宙センターにおいて、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）及び三菱重工業株式会社が開発したH 2 A ロケットの最終号機（50 号機）の打上げが成功し、搭載された「温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）」が予定の軌道に投入されました。

H 2 A ロケットは 2001 年の初号機打上げ以来、通算 50 機中 49 機の打上げ成功という極めて高い信頼性を誇り、日本の航空宇宙産業を支えてきました。50 号機という節目において、その技術力と成果が結実し、まさに有終の美を飾りました。

本県には、H 2 A ロケットのコア機体の製造を手掛け、後継機とされるH 3 ロケットの開発・製造拠点である三菱重工業株式会社をはじめ、関連するサプライヤーが多数集積しております。H 2 A ロケットが築いてきた高い信頼性と実績は、県内のサプライヤーにとっても大きな誇りであり、本県の航空宇宙産業が更なる発展を遂げることを期待します。

本県としましては、航空宇宙産業を、本県を支える産業として、地域の行政、支援機関、業界団体及び大学で構成する「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」を核に、地域一体となって、引き続きしっかりと支援してまいります。

2025 年 6 月 29 日

愛知県知事 大村秀章